

貸借対照表

2024年 3月 31日 現在

株式会社 JALスカイ大阪

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	〔 438,780,639 〕	【流動負債】	〔 186,677,695 〕
現金及び預金	23,008,787	営業未払金	58,189,025
営業未収入金	214,100,726	未払金	5,461,195
未収入金	2,354,498	未払費用	81,203,807
未収通算税効果額	38,285,818	預り金	12,700,804
仮払金	210,000	未払消費税	28,632,864
立替金	9,947,083	未払法人税等	490,000
短期前払費用	681,446		
短期貸付金	150,192,281		
【固定資産】	〔 223,200,835 〕	【固定負債】	〔 267,586,769 〕
(有形固定資産)	(1)	退職給付引当金	267,586,769
工具器具備品	362,000	負債の部合計	454,264,464
減価償却累計額	△ 361,999		
(無形固定資産)	(1,148,054)	純資産の部	
電話加入権	593,320	【株主資本】	〔 207,717,010 〕
ソフトウェア	806,000	【資本金】	〔 30,000,000 〕
減価償却累計額	△ 251,266	【資本剰余金】	〔 10,000,000 〕
(投資その他の資産)	(222,052,780)	資本準備金	10,000,000
長期前払費用	3,492,534	【利益剰余金】	〔 167,717,010 〕
繰延税金資産(固定)	218,560,246	(その他利益剰余金)	(167,717,010)
		繰越利益剰余金	167,717,010
		純資産の部合計	207,717,010
資産の部合計	661,981,474	負債・純資産の部合計	661,981,474

個別注記表

自 2023年 4月 1日 至 2024年 3月 31日

株式会社 JALスカイ大阪

I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品 …… 最終仕入原価法を採用しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。

1998年4月1日以降に取得した建物および2016年4月1日以降に取得した建物
付属設備及び構築物については定額法、それ以外のものについては定率法を採用
しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 退職給付引当金

従業員の退職給与に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき
計上しております。

4. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 収益の計上基準

当社は、日本航空株式会社からの受託契約に基づく航空旅客サービスを提供しており、
定額部分については契約期間にわたって、従量部分については役務提供完了の時点で収益
を認識しております。

(2) 資産除去債務に関する会計基準の適用

当社は、賃貸借契約に基づき使用する事務所等について、退去時における原状回復に係る
債務を有しておりますが、当該債務に関連する賃貸資産の使用期限が明確でなく、現時点で
移転等も予定されていないことから、資産除去債務を合理的に見積もることができません。

そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上しておりません。

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度末における発行済株式数

株式の種類	前事業年度 末の株式数	当事業年度 増加株式数	当事業年度 減少株式数	当事業年度 末の株式数
普通株式	14,070株	—	—	14,070株